

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

×コミュニケーション能力は生まれつきと思うのは誤解だ！

仕事が円滑に進まない要因で、意外と多いのがコミュニケーション不足である。コミュニケーションは、自分ではしているつもりでも相手に理解されないということもあり、なかなかやっかいなものである。「言っている・言っていない」「聞いている・聞いていない」のすれ違いのレベルからある。「私は、もともとコミュニケーション能力が不足していて…」などという人が時々いるが、**努力で補える部分も多いものだ**。ここでは、円滑なコミュニケーションを考える入り口を5つ上げる

1:生まれながらの会話上手はいない

話の上手な人は、生まれながらにして話し上手であるという考えは間違い。その人の学習度合いで、上手・下手の開きが出ているにすぎない。

2:聞き方・話し方以前の問題

態度・表情・言葉使い・返事をしないなど、聞き方や話し方以前の問題で、そう思っていないだろうが、「私はあなたとコミュニケーションしたくないですよ」的な印象を、相手に与えていないか振り返ってみる必要がある。

3:「あがる」ことを防ぐ

あがり性という医学的な特別の症状があるわけではない。緊張すれば誰でもあがる。でも、相手は自分が感じるほどあがっているとは見ていない。

4:しゃべりすぎしていないか

相手の話を聞きながら話す。これがコミュニケーションの基本。あなたばかりが話をしていたら、一見話し上手で相手に理解されているようだが、むしろ警戒され軽薄に見られているので要注意！

5:相手の立場になって話し・聞く

コミュニケーションは相互理解のためにするのだから、相手の立場を尊重することが必要。聞く態勢になっていない相手に話をしても理解されない。そして自分が素直に聞く態勢をつくらなければ相手の意図がわからない。

円滑なコミュニケーションを考える入り口5つは何ですか？

1:()

2:()

3:()

4:()

5:()